

働く側からみた介護職

介護職は離職率が高いのか

「介護職は大変で、賃金も低い。だから離職率が高い」。そんなイメージはありませんか。

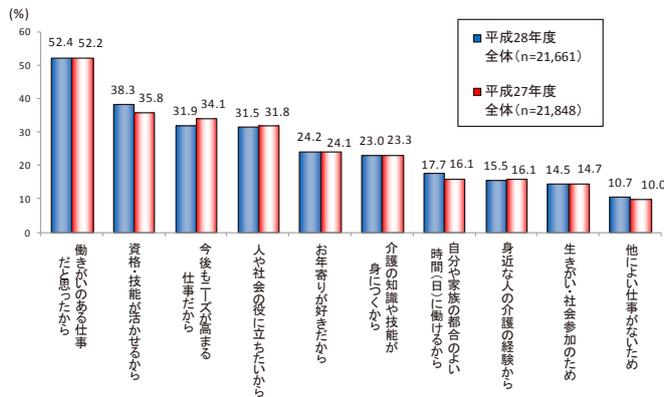
介護職の離職率は2015（平成27）年10月1日からの1年間で16・7%。全産業では15・0%。宿泊業・飲食サービス業が全産業で最も高い28・6%。介護職だけが特別高いという訳ではなさそうです。（介護労働安定センター調べ）

図にあるように介護の仕事を選んだ理由は「働きがいのある仕事だと思ったから」が多くを占めています。

一方で不満に感じているのは「人手が足りない」の53・2%。そして「仕事内容の割に賃金が低い」が41・5%。

平成27年度介護職の職員数はおよそ

表3 仕事を選んだ理由（複数回答）



平成28年度「介護労働実態調査」の結果 公益財団法人介護労働安定センター

183万人。有効求人倍率は2・59。全産業の1・08と比べ高く、圧倒的な人手不足に陥っていることがわかります。採用がなかなかできない要因の一つは不満にもある賃金の問題です。

ヘルパーさんに聞きました
介護のオシゴトって
どうですか？



ヘルパーの仕事は天職

介護ヘルパー 近藤礼子さん

訪問ヘルパーとして介護に携わり、もう18年近くになります。

夫の母を遠距離介護したのがきっかけで、偶然見たチラシに載っていたヘルパー研修を受講しました。

新しい利用者さんの所へ行くと、必ず出身や趣味、好みなど出来るだけ多くの情報を仕入れ、勉強します。相手に寄り添うことで信頼してもらい、安心して任せてもらうことが出来るからです。

「あなたが来るのを待ってたのよ」。利用者さんに感謝されることが何よりも嬉しい。「あなたも頑張ってるよ」と励まされることもあります。

仕事はどんな仕事でも大変ですが、違いはない、同じだと思います。人と関わること、お世話することが好きな人は気負わずに介護の世界に来てほしいと思います。

ケアマネさんに聞きました
介護のオシゴトって
どうですか？



ヘルパーは人を笑顔にすることが
できる仕事

居宅介護支援事業所 QOLケアサービス
運営・ケアマネジャー 間宮奈保子さん

人手不足は深刻。とにかく本当に人が足りないんです！

在宅介護が必要な高齢者を対象とした介護サービスを提供しています。実は在宅でのケアを希望される方は非常に多いのですが、叶えられる体制がなかなか整いません。ヘルパーが増えなければ、利用者さんも増やすことが出来ません。空いた少しの時間、ヘルパーの仕事をしてくれる人を増やしたいというのが切実な願いです。

ホームヘルパーの仕事は入浴や着替え等の介助を含む身体介護と、掃除や洗濯等を含む生活援助の2つに分けられます。利用者さんの希望や状況に合わせてサービスを提供

します。

同じ利用者さんでも日によって違います。だから瞬時に判断し、接し方を変える、その姿はまるで女優です。コミュニケーションが大事な仕事です。

ヘルパーの仕事は派手ではないし、キレイなものでもありません。しかし利用者さんのそばにいて、自信や勇気を与え、笑顔にする力を持っています。なかなか表には出ないこのヘルパーの魅力や力を、ヘルパー同士で話し合い、語り合ってもらおう機会をもっと作ろうとしています。

ヘルパーたちの意識を変え、自ら魅力を発信してもらうことで、新たな人材確保につなげたいと考えています。

介護職をめぐる国の取り組み

現在、介護職に対しての賃金補助、キャリアアップのための資格取得の費用補助等、様々な取り組みがなされています。

資格取得は賃金アップ、キャリアアップにつながるだけでなく、介護保険制度の理解が介護技術の習得により、介護を取り巻く様々な人に役立ちます。特に骨格や筋肉、神経等、身体の仕組みをきちんと理解して活用することは、利用者の安全と同時に介護者の腰痛予防等にも活かされ、長く仕事を続けることができます。

介護職の資格・キャリアの流れ



介護職を担う人材の確保に向け、介護の魅力を伝えるイベントの開催や、小中学生に対して、高齢者と接する機会を増やす体験型学習を進めようとしています。（本文・インタビュー 佐野

誇りをもち介護の世界で働く人との出会いが、私自身の介護への気持ちを前向きなものに変えてくれました。